



あぐい

第151号

平成28年11月1日発行

祝阿久比町敬老会 議会だより



和太鼓「歩童」

阿久比中学校 吹奏楽部



2P 主な議会内容



3P 決算の状況



6P 常任委員会レポート



7P 一般質問



18P グループ紹介「グリーン」

平成23年第3回定例会

可決

阿久比町税条例等の一部改正

反対討論

杉野 明議員

税は、所得に応じて負担する応能負担が原則。今回の改正は

- ① 租税特別措置法による大企業・大資産家優遇の株式優遇税制を2年間延長するもの。
- ② 不申告に対する対応は、まず適切な指導を行うべき。以上、主な理由として反対。

認定

平成22年度一般会計歳入歳出決算

反対討論

杉野 明議員

- ① 町職員が条例の定数より30人も少ない。住民の期待に応えるためには職員の増員が必要。
- ② 不要な電光掲示板は運用を中止すべき。
- ③ ホタル事業は、ホタルが自然に繁殖する取り組みにすべき。
- ④ 公園整備事業は費用対効果を考えて行うべき。山田中央公園整備の2千91万円は高額すぎる。

賛成討論

山本 和俊議員

中学生までの通院医療費無料化や老人憩いの家のAED設置、そして観光協会も今年度無事に発足。さらに町道3196号線、3045号線の道路新設改良に取り組み、町内3カ所の除塵機に監視カメラを設置した。

また、小中学校の耐震化がすべて終了し、子どもたちが安心して学校生活をおくれるようになった。

財政的に厳しい状況の中、各種施策を堅実に進めたことを高く評価する。

反対討論

辻 忠男議員

- ① 不用額が多いことは問題。不用額を早く精査し、他の緊急な施策に充てるべき。

- ② デイサービス事業を利用者や家族に相談せず、一方的に廃止したのは問題。平成22年度中に通知したとの答弁では不十分である。

また、今後の課題として、主要施策の成果報告書の内容を創意・工夫すべき。

認定

平成22年度水道事業会計決算

賛成討論

沢田 栄治議員

平成22年度の水道事業会計の決算状況は、収益的収支においては、給水戸数の増加による収益の増加と、経費の削減努力によって、赤字額を大幅に縮小した。

また、東部地区の安定供給に大きく寄与する上水道第3供給点の建設事業を着実に進めていることは、高く評価できる。

可決

阿久比町長等の給料月額の特例に関する条例

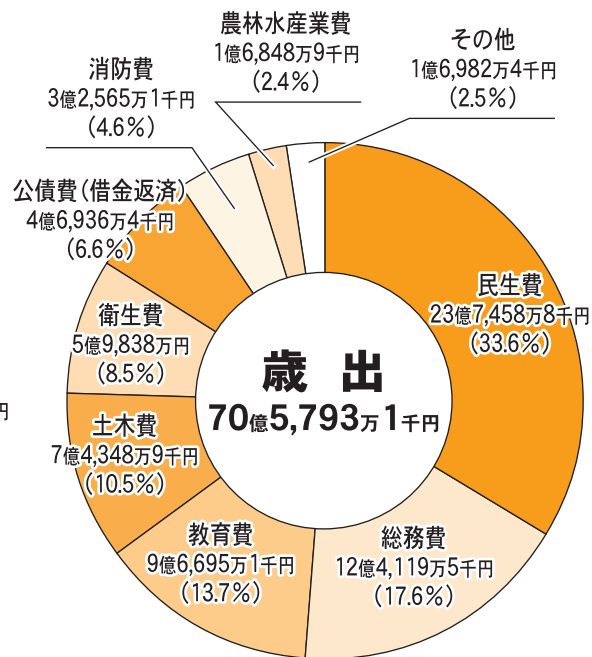
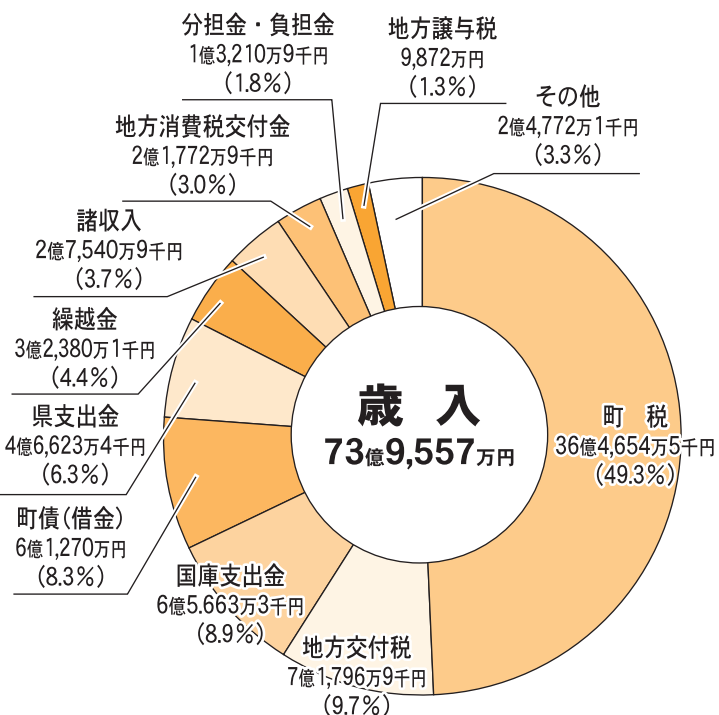
賛成討論

久保 秋男議員

給料減額として町長が20%、副町長が10%、それぞれ2か月の減額という処分内容であるが、以前近隣でおきた横領事件と比べると、本町の方が横領していた期間も短く、また横領していた金額も少なかったものの、今回本町の方がより厳しい処分となっており、妥当な判断である。

決算の状況

平成22年度 一般会計決算



平成22年度特別会計・企業会計決算

区 分		歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引 額
国 民 健 康 保 険		23億3,297万3千円	22億4,253万7千円	9,043万6千円
老 人 保 健		3,306万円	3,306万円	0円
土 地 取 得		38万6千円	38万6千円	0円
下 水 道 事 業		11億2,846万4千円	11億63万3千円	2,783万1千円
介 護 保 険		13億2,511万4千円	11億9,471万5千円	1億3,039万9千円
後 期 高 齢 者 医 療		2億2,092万4千円	2億1,933万3千円	159万1千円
水道事業会計	収益的収支	4億9,084万7千円	4億8,876万4千円	208万3千円
	資本的収支	2億3,431万9千円	3億4,201万1千円	△1億769万2千円



卯ノ山児童館 シャボン玉あそび

請願

請願者代表 新海 正佑
紹介議員 鈴木 一夫

不採択

阿久比・矢高土地改良事業に関する請願

主旨

阿久比・矢高土地改良事業地権者負担金約20%の確保及び過重な負担軽減の取り組みと準備委員会へのご指導ご支援の御願い

反対討論

杉野 明議員

地権者へのアンケートで「基盤整理実施に賛成」は45%である。「わからない。現状のままで良い」とした回答者の「区画が狭い」などの問題点を基盤整理で解決できると解析し、賛成者が76%として強引に土地改良を進めようとしている。土地改良には地権者の明確な合意が必要である。

賛成討論

竹内 一美議員

町のマスタープランや総合計画に位置付けられ、町の将来にとつては、推進しなければならない事業である。

この請願は、議会側に対して事業推進のための取り組みをお願いしたい、支援をお願いしたいという趣旨と理解するので、何ら執行側と反するものではなく、妥当性のあるものと考ええる。

行政側、地権者側、議会が一体となつてこの事業に取り組んでいかなければならないと考える。

本年度中に土地利用計画の概要、概算事業費、概算減歩率が決まり、地権者同意も近づいて来るため、本請願が出されたことにも充分理解できる。

反対討論

渡辺 和幸議員

阿久比・矢高土地改良事業の推進が町総合計画に位置付けられ、農地の基盤整備を図り、都市計画道路の築造や自主財源確保のための工業用地の確保などが大変重要な事業であることは理解し、事業の推進は必要であるとの立場だが、問題は今回提出された請願趣旨及び請願理由の文中の「地権者負担金約20%の確保」の文言である。

地権者負担金は、全体の土地改良事業費に係わる地権者の負担部分を言っており、本来は、地権者が自らの土地の減歩により賄われるものであると理解している。

このため、この「20%」の確保を明文化した請願を採択することは、議会が地権者の負担部分の「20%」を保証するとの誤解を与えかねないものであり、本請願の採択には反対する。

賛成討論

澤田 道孝議員

請願の主旨が正しく理解されていない。採択して執行機関へ提出して意見を求めるべきである。

賛成討論

鈴木 一夫議員

本件に関連し、すでに平成20年6月定例会において賛成多数で採択をしている。内容は市街化拡大・基幹道路の早期実現・工場立地の推進・今回の中断している土地改良事業の再開を求めるものである。

本町マスタープラン及び第5次総合計画の中でも土地改良事業を推進し、企業誘致を実施して自主財源の確保に努めるとある。都計道路草木岩滑線、矢高横川線の整備促進そして本町の発展のためにも大きく左右されるものである。総論賛成各論反対ではなく、採決すべきである。

意見書

町民の声を内閣総理大臣などに提出

- | | | |
|-----------|------------------------------------|-------------|
| 可決 | 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書 | 提出者 久保 秋男議員 |
| 可決 | 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書 | 提出者 久保 秋男議員 |
| 可決 | 愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書 | 提出者 都築 重信議員 |
| 否決 | 原発から速やかに撤退し、再生可能エネルギーの開発と普及を求める意見書 | 提出者 杉野 明議員 |

陳情

- ① 郵政民営化抜本見直しに関する陳情書
- ② 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める陳情書
- ③ 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ④ 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ⑤ 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書

同意

教育委員会委員の任命（再任）

かとう
加藤 まゆみ 氏（植大）

平成23年9月30日をもって任期満了につき再任



諮問

人権擁護委員の推薦（新任）

いなばちえこ
稲葉 千恵子 氏（白沢）

法務大臣へ推薦することにしました。



議案等

◎全員賛成可決

○賛成多数可決

×否 決

議案

- 阿久比町税条例等の一部改正
- 阿久比町都市計画税条例の一部改正
- 平成23年度阿久比町一般会計補正予算
- 平成23年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算
- 平成23年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算
- 平成23年度阿久比町介護保険特別会計補正予算
- 平成23年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成23年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 備品購入契約の締結（小型動力ポンプ付積載車）
- 阿久比町長等の給料月額の特例に関する条例の制定（町長及び副町長の給料月額を減額するため）

同意案

- ◎教育委員会委員の任命

諮問

- ◎人権擁護委員の推薦につき意見を求める

請願

- ×阿久比・矢高土地改良事業に関する請願

意見書

- ◎定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
- ◎国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
- ◎愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書
- ×原発から速やかに撤退し、再生可能エネルギーの開発と普及を求める意見書

報告

- ・平成22年度阿久比町健全化判断比率及び資金不足比率

決算認定

- 平成22年度阿久比町一般会計歳入歳出決算認定
- ◎平成22年度阿久比町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- ◎平成22年度阿久比町老人保健特別会計歳入歳出決算認定
- ◎平成22年度阿久比町土地取得特別会計歳入歳出決算認定
- ◎平成22年度阿久比町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- ◎平成22年度阿久比町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- ◎平成22年度阿久比町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 平成22年度阿久比町水道事業会計決算認定

第3回臨時会議案一覧（7月29日）

議案

- 土地の取得について（新保育所用地）

反対討論

澤田 道孝 議員

土地買収価格が不動産鑑定価格であるならば、鑑定書の開示をすべきであり、鑑定書の開示がされていないので反対する。

反対討論

三留 享 議員

保育園の統合・新設、場所については特に異論はない。
問題とするのは、価格決定根拠が「不動産鑑定書どおり」であると説明しながら、その根拠となる鑑定書の開示を拒否されては、議決に責任を持つ議員としては賛成できない。

総務建設

条例の一部改正と補正予算 平成22年度決算認定等

当委員会に付託された4議案、4認定、1請願を審議した。

議案の内容は、阿久比町税条例等一部改正、平成23年度一般会計補正予算等である。一般会計補正予算では、財政調整基金の状況、標高マップの内容、公務災害補償掛金の増額について質問があった。審議の結果、原案通り全て可と決した。

認定の主な内容は、平成22年度一般会計及び土地取得特別会計等の決算認定である。水道事業会計決算では、人件費の推移や有給休暇の消化率、設計発注の偏りについて質問があった。審議の結果、原案通り全て可と決した。

請願の内容は阿久比・矢高土地改良事業に関するもので、地権者負担金20%確保及び過重な負担軽減への取り組みへの請願である。請願者が参考人として出席し、委員の質問に答えた。日を改めて継続審議を行ったが結果は不採択となった。

(竹内一美議員)

文教厚生

暮らしやすい生活を重点に

当委員会に付託されたものは、4議案及び5認定である。

議案の主なものは、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、後期高齢者医療特別会計補正予算である。

22年度の決算認定では、不要額が多額にならないようにすべきでは、ダイヤモンド婚者、金婚者を祝う会のあり方等の意見があった。

その後表決を行い、全員賛成4件、賛成多数1件で、原案のとおり可決および認定した。

(都築重信議員)



ダイヤモンド婚、金婚者を祝う会

Q&A

一般質問

ここが聞きたい

町政を問う



大村 文俊 議員

職員の不祥事再発防止を 信頼回復と再発防止に



Q 上下水道課職員による水道料金の横領事件の再発防止と、町民の皆様が納得できる信頼回復への取り組みを伺う。

- ① 水道料金横領の全貌。
- ② 全部署への総点検は。
- ③ 外部有識者参加の公金取扱適正化委員会を。
- ④ 事件後の職員認識は。
- ⑤ 一般職員の心のケア。
- ⑥ 町民への信頼回復の具体的手法は。



A ① 上下水道課課長補佐兼上水業務係長が、昨年1月から今年8月までに、窓口や訪問集金で受領した252件の水道料金約314万円を横領した。横領した職員は、パチンコや競馬、宝くじなどの遊興費に使ったと供述し、横領した料金を8月24日に全額返還した。

② 町長、副町長、総務部長で全部署に出向き聞き取りを行い、また問題点を洗い出すために検討調書を提出させた。

③ 外部委員として代表監査委員に要請し、引き受けていただいた。

④ 職員全員が事件を重く受け止め、公金の取り扱いに限らず、日頃の職務全般を見直した。

⑤ 精神的な不調を訴える職員はいないが、職場内のコミュニケーションを促して、一致団結して職務に励むように指示した。

⑥ 信頼を失墜させたことに謝罪し、二度と不祥事が起こらないように努めていく。

狭あい道路解消への取組を

要綱制定を



Q 住民の皆様が安全で快適な生活のための狭あい道路解消への取り組みを伺う。

- ① 後退用地に関する指導要綱の整備は。
- ② 生活道路の行政評価の内容と進捗状況は。
- ③ 近隣市町では、20年前から取り組んでいる。なぜ阿久比町では、地権者に理解が得られないのか。
- ④ 補助金申請しない理由は。



A ① 現在の後退用地に関する指導要綱には、建築後退した土地の測量、分筆、所有権移転等の基準が明確でないので、新たな要綱の制度を検討している。

② 行政評価にある生活道路の整備には、狭あい道路整備促進事業を活用して道路改良工事を実施した路線がない。

③ 狭あい道路の解消に向けた取り組みに理解が得られないのでなく、地権者の理解が得られた路線から道路改良工事を実施している。

④ 狭あい道路整備促進事業補助金を活用した道路改良工事はしていないが、今後、道路改良工事の一つの方法として同補助金の活用を考えて行く。

住民の命を考えた交通安全対策を

地域住民の意見を



Q 各地区の既設道路と陽なたの丘からの取り付け道路との交通安全対策を伺う。

- ① 地元要望が出ているのに一旦停止の措置がとれない理由は。
- ② 死亡事故が起きたときの責任の所在は。
- ③ 住民の命を守るために行政として何をすべきか。
- ④ 宮津保育園前の交差点は問題解決したのか。



A ① ③ 本年8月に実施した、半田警察署と知多建設事務所との合同パトロールでは、陽なたの丘からとふれあいの森からのどちらの道路を優先するか決定して欲しい旨の連絡があった。交通量等の状況を考慮し、地域住民の意見を聴取し、半田警察署へ回答したいと考えている。

④ 宮津保育園前は、地元自治会と協議のうえ、交通安全対策方法について話し合いをしたいと考えている。

循環バス試行運転

利用者アンケートをもとに



辻 忠男 議員



阿久比団地に停車することになり感謝する。

①横松・草木・高岡・植地区から「路線の延長・住宅地内まで」との要望は。

②「3〜6か月で運行状況を見て再検討」の具体的時期は。
③お年寄りや障害者が利用しやすい路線・バス停の検討は。
④狭い道路を通れるバスについても検討を。

⑤障害者用バスの導入を。
⑥循環バスの愛称公募は。



①試験走行し、循環バスの運行が可能か否かについて検討した。

②③利用状況や利用者アンケートをもとに検討しルートやダイヤ、停留所の見直しをする。

④これ以上小さい車両で運行することは、乗者定員などで難しい。

⑤障害者の皆様にも利用していただけるよう、利用者アンケートなどを参考に検討する。
⑥循環バスなどにアグビーマークを前面にだして使用している。愛称募集は今後の検討課題とする。

まちづくり懇談会での要望・意見は

計画的に進める



①災害時に利用する仮設トイレ用の配管が高根台に実現したが、引き続き町でできる災害対策は。

②各地区からの要望に「検討する」との回答があるが、その結果の公表は。

③新保育園の地盤調査結果は。また、地震による液状化対策は。

④宮津保育園は「定員200名」だが、園舎・園庭が狭くなるが大丈夫か。

⑤狭い道路・交差点等の安心安全対策は、計画的に進められているか。



①学区自主防災倉庫に緊急用組立式簡易トイレを常備してあるが、数を増やすようにする。他の仮設トイレについては、今後の検討課題とする。

②会場のできる限り回答しているが、内部検討を要するものなどについては一旦持ち帰り、後日地区へ直接回答するので、公表は考えていない。

③新保育園用地内の3カ所でボーリング調査を実施し、11〜12mで支持地盤に適した地層となっている。液状化については、液状化層は認められないとの調査結果であった。杭長は11〜12mを予定している。

④宮津保育園には空部屋が2部屋あり、また園庭は国の最低基準の2歳児以上の園児1人当たり3・3㎡に比べ約17・6㎡と余裕のある状況である。

⑤信号機や横断歩道などの設置要望は、半田警察署に協議し、カーブミラーやガードレールなどの交通安全対策事業は、計画的に進めている。

長良川河口堰開放と水

検証作業に注目



町長は「水利権が知多地域にとつて重い足かせになっている」と発言されたが、利根川・淀川での水利権は解決している。長良川河口堰の水藻が生えて、上流から農業・工業・生活雑排水など汚濁水が集積されている。

①長良川から木曽川に。

②塩素等水質浄化剤・殺菌剤を大量に使用すると発がん性等の危険を指摘する研究についてどうか。

③水道料金の値下げは。



①長良川河口堰の運用について、愛知県が検証作業を進めているので、その動向に注目している。

②町が定期的に実施している水質検査において、発がん性が疑われるトリハロメタン関係の5項目を含む、全ての検査項目で水質基準を満たしているの、発がんの可能性が高まることはない。

③本年4月に水道料金を値下げしたばかりで、現時点では値下げを考えていない。当面は累積欠損金の解消を図る。



竹内 一美 議員

阿久比・矢高地区土地改良事業、今後の課題は 工業用地開発や都市計画道路早期着手に努力

Q この事業の推進は町の未来にとって重要な位置付けである。

① 現在までの問題点と今後の問題点は。

② 計画調査委託と都市計画道路見直し業務の進捗状況は。

③ 矢高横川線と阿久比高校進入路整備は。

④ 今後の事務局体制は。

A ① 準備委員会設立当初から現在まで、土地改良事業に係る一番の関心は、地主負担分を賄うために拠出した土地がいかんとして売却できるかにある。町は、関係機関と協力して工業用地開発や都市計画道路の早期事業着手に努力する。

② 土地改良事業に係る計画調査業務は既に委託契約を締結し、年度内には土地利用計画・平面計画・事業費・減歩等の概略計画が明らかになる。また、都市計画道路の見直し業務についても、ルート案の作成作業中である。

③ 都市計画道路や阿久比高校進入路の整備は、土地改良事業の面整備計画と合わせて計画したい。



平成13年3月16日換地処分が完了した阿久比南部土地改良事業の現在の様子

④ 事務量に応じた事務局体制の整備を考えている。

観光協会事業、これからの取組は

権現山・酒蔵などを観光ルートに組入れる

Q 知多半島5市5町に観光協会が出そろった。今後の観光協会の事業内容、方法は。阿久比の再発見、まちづくりにつながる要素があり、町民も注目している。

① 観光資源としての新しいコンテンツづくりは。

② 隣接市町との事業の連携は。

③ 阿久比川右岸提を散策路として整備、観光資源とする考えは。

A ① 新たな観光資源としては、本町の田園風景や農業などの地域資源の活用、植地区の矢勝川、権現山、酒蔵を観光ルートに組み入れることなどを検討している。

② 岩滑地区で毎年行われている「童話の森秋まつり」に訪れる人が、植地区の権現山の風景や酒蔵などを観光先に加えられることを考えている。

③ 阿久比川は、四季折々の風情を醸しているため新たな観光資源として活用したい。方法のひとつとして知多半島サイクリングロードとして使用できるよう県に要望している。



「童話の森秋まつり」から権現山を望む

水道料金の横領事件

綱紀肅正を徹底



久保 秋男 議員



上下水道課職員による水道料金の横領

事件発生の原因と再発防止の今後の課題について問う。

この横領事件の極めて重大な点は、役場組織として町民の貴重な公金を取り扱っているんだという意識の希薄、公務員としての倫理観の欠如を引き起こすような職場風土など、そうした問題点が重なったためではないか。

①横領事件発生の原因は。
②再発防止対策の課題は。
③地方公務員の職務に係る倫理の保持のために必要な施策は。
④町民に対し町長は本町の信頼を回復するための具体的な指示と行動はしているか。
⑤職員の不祥事等の処分について本町の規定は。
⑥公金取扱い適正委員会の役割・人選・人数は。



①現金の取扱い、そして未納通知書の作成、仕分け、発送作業におけるチェック体制が機能していなかった。

②職員自身が、今回の横領事件により信頼を著しく失墜させたことを真摯に受け止め、公務員としての責務を厳しく自覚し、綱紀肅正を徹底する意識の高揚と再発防止に向けた具体的な行動を迅速に進め、全職員一丸となつて取り組む。

③研修を繰り返し行い、公務員倫理の重要性をさらに認識させていく。

④全職員を招集し、綱紀肅正と再発防止を厳重に訓示した。「不祥事防止チェックシート」で、日常生活について自らチェックするように指示したなど。

⑤公金横領は、金額に関わらず懲戒免職となる。

⑥役割は、現金の取扱いについて厳正なチェック体制を確立すること。副町長以下全部課長と代表監査委員、事務局も含め21名で構成。

一般参加型の防災避難訓練

自主防災会の組織強化を図る



Q 昨年度まで実施してきたリーダー型防災訓練から一般参加型防災避難訓練を計画し実施した目的、その成果と今後の課題について問う。

①一般参加型避難訓練実施の目的は。

②避難訓練の検証結果と今後の課題は。

③各自治会との連携不足は無かったか。あればその要因は。

④避難訓練を総括し、早急に取り組まなければならない課題は。

⑤広域な被害が発生したとき、国・県・隣接市町と連携した救助活動計画が整っているか。



A ①東日本大震災の津波の被害の甚大さを目の当たりにして、町民自ら災害時には「まず逃げる」ことにより、身を守ることを考え実施した。

②各自主防災会の主導のもと、避難や安否確認が迅速にでき、5,226人の参加があった。

今後は、要援護者支援の方法を考える必要がある。自助・共助を生かした地区自主防災会の活動が重要となる。

③7月23日の自主防災会の研修会で避難訓練の説明会を実施したが、準備期間が短く、迷惑をおかした。

④平日や夜間での避難体制や方法の検討が必要と考える。

また、自主防災会の組織強化を図っていく。

⑤災害基本法により知事や他の市町村長に対し応援を求める。

広域消防相互応援協定・ホタルサミットによる相互応援協定を結んでいる。



杉野 明 議員

滞納整理機構のありかた

その人に合った方法で対応

Q 県知多地方税滞納整理機構の運用が始まり、各地で納税者の権利を無視した強権的な徴収がされている報告がある。

- ①滞納整理機構の法的根拠は。
- ②委託の基準は。
- ③一括納税の困難な納税者に対しては、分割納税や法に基づく徴収猶予など、生活や営業の実態を踏まえた柔軟な対応をすべきでは。

A

①県と市町で構成された任意組織である。設立の根拠は、要綱や協定書に基づくものである。

- ②原則として、個人住民税の滞納があり、他の町税と併せた滞納の本税額が、概ね30万円以上で、かつ、徴収が困難と認められるもの、担保力があると認められるもので、機構と町が協議のうえ決定する。
- ③納税交渉の中で、その人に合った方法での納税対応を行っている。

介護保険制度の改正を

多様なサービスを提供

Q

介護保険制度の改正を受け、自治体の責務、住民・事業者の要望から質問。

- ①介護度の低い要介護者の「介護外し」で利用料が引き上げにならないような措置が必要では。
- ②「24時間対応の定期巡回など在宅サービスの強化」の具体化は。
- ③今回創設の、保険給付とならない「介護予防・日常生活支援総合事業」について町の見解は。

A

- ①軽度要介護者の利用料が上昇する情報はない。
- ②現行の訪問系サービス、通所系サービス、ショートステイを効率よく組み合わせた在宅介護の支援を進める。
- ③利用者に不利にならないように、地域包括支援センターと連携を取りながら、多様なサービスを提供する。

町職員の不正防止

制度の周知を図る

Q

不正を内部から正すための「公益通報制度」をどう具体化しているか。

A

職員に対して一層この制度の周知を図っていく。

小中学生海外家庭生活体験事業

貴重な体験ができた



鈴木 一夫 議員

Q 現在までの本事業の現状と、今後の課題を伺う。

- ① 中学生の海外家庭生活体験事業の今年度までの概要は。
② 小学生は平成20年度より万博交付金によると聞いていますがその概要は。
③ 費用対効果についてこの事業が有効であるか。
④ 小中学生の反応は。
⑤ 保護者の反応は。
⑥ 本事業で大変困ったことは。
⑦ この事業で良かったことは。
⑧ 今後はどう推進するか。

A ① 平成6年度からカナダ・ニュージーランドに派遣している。

- ② 平成20年度からシンガポールに派遣している。
③ 国際理解、国際感覚の育成に成果がある。
④ 言葉の壁・文化の壁を乗り越え貴重な体験が出来たこと。
⑤ 個人では難しいホームステイや海外交流を体験させたこと。
⑥ 特にない。
⑦ 海外生活体験を通して学びを保障すること。
⑧ 基本的に継続する。

給食センター現状と課題

維持管理に努める

Q 昭和55年に建設されて既に31年が経過している。

- ① 相当年数が経過しているが、本体の老朽化に心配はないか。
② 建設後、設備又は本体の主な修繕の内容は。
③ 近隣市町の給食センターの運営状況は。
④ 本町は今後どう対応するか。
⑤ 調理員は資格が必要か不要か。
⑥ 今後の課題として早急に対応を余儀なくされる点は。

A ① その都度修繕工事等を実施して、施設の維持管理に努めている。

- ② 設備は、蒸気回転釜などを、建物は、汚水処理施設などの修繕をした。
③ 知多5市4町では、半田市と東海市が調理委託をしている。その他は、直営で実施している。
④ 今後の運営については未定である。
⑤ 資格が無くても問題はない。
⑥ 設備機器等の維持管理と、適正な職員配置に努める。



給食センター

水道料金横領事件反省と対策

チエック体制の見直し

Q この種の事案はごく一部の職員のために、長年構築された実績と信用が一瞬にして台無しになる。

- ① このようなことが他部署でも発生しないか再点検はしたか。
② 町長が謝罪し体制改善へとあるが具体的にどう対応したか。
③ 行政改革の下で職員の数が適正に配置されていないのでは。
④ 水道会計に副町長の決裁は不要か。法的根拠は。
⑤ 全庁的な公金取り扱いをどう点検し、見直しをするか。
⑥ 今回の事件で一番大きな要因は。

A ① 町長ら3人で全部署にて聞き取りを行い、また問題点を洗い出すために検討調査を提出させた。

- ② ルールを見直すとともにチエック体制をより厳格なものにする。
③ 以前から3人体制で行っており、行政改革とは関係ない。
④ 水道事業の組織等を規定する地方公営企業法が、地方自治法等の一般法に対して特別法として制定されている関係があり、行政実例において、水道事業は一般会計から独立した組織であることから副町長に決裁権がないとされている。
⑤ 公金取扱適正化検討委員会において、現金を取り扱うものすべてを見直す。
⑥ チエック体制が機能していなかったことにある。



沢田 栄治 議員

町内一斉避難訓練は 5,226人の参加

Q 町内一斉避難訓練は万全だったか。

①実施計画はいつものように決定したか。

②世帯数と訓練参加人数は。

③町として予定通りの結果か。

④今後の対策をどうするか。

A

①東日本大震災の被害の甚大さを知り、今までの町主導型ではなく、自主防災会主体で、全町民を対象とした訓練とし、6月中旬に町内部で決定した。

②9,251世帯で、26,293人のうち5,226人の参加があった。

③阿久比町全地区一斉避難訓練とし、世帯1名以上の参加をお願いした。

5,226人の参加があり、予想以上の参加であった。

④全町民が避難する場合、避難所の規模や場所等の見直しが必要と考える。

町防災倉庫中身は 10,778食分備蓄



防災倉庫内部

Q

町防災倉庫の中身は。

①町備蓄場所はどこに何ヶ所あるか。

②備蓄内容は何か。

③食糧は何食分備蓄か。

④災害時物資協力店はあるか。

⑤各小学校に食糧備蓄は可能か。

A

①丸山公園に1か所と各小学校体育館と学区自主防災倉庫が1か所ずつ計9か所ある。

②阿久比町防災倉庫には、アルファ米・クラッカー・缶詰・飲料水・簡易トイレ・避難所間仕切り等が、学区自主防災倉庫には、発電機・投光機・折りたたみリヤカーが、各小学校体育館には毛布・ポリタンク・トイレトペーパー等が保管してある。

③10,778食分を備蓄している。

④災害救助に必要な物資調達協力店が9店舗ある。

⑤管理等の関係もあり各地区等と協議検討する。

通学路は安全か

カラー路側帯の検討

通学路は安全か。

①信号機、歩道、路側帯の道路対策はできているか。

②通学路側帯をすべてカラーラインにしてはどうか。

A

①通学路の安全対策については、各小学校からの要望に基づき、交通安全対策事業や道路維持補修工事等を実施している。

②通学路側帯のカラー舗装については、40人以上の児童が利用する通学路を実施してきた。今後は、利用頻度や路側帯の有効幅員を考慮して、検討していく。



通学路

公共工事入札の現状は 競争性の向上



新美 秀夫 議員



Q 建物の耐震工事や公共下水道整備も整い、発注件数も減少傾向にある。今後透明性を保ち、業者間の競争を活発にし、無駄をなくす入札制度を推進するには。

① 一般競争と指名競争入札の違いは。
② 最近是一般競争入札のみ執行しているが、その効果は。
③ 入札の透明性を保つため、内訳明細書の提出を。
④ 品質向上を図るために、管理技術者の確認を行っているか。



A ① 「一般競争入札」は、一定の資格を有する不特定多数の者をして競争させ、「指名競争入札」は、特定多数の競争参加者を選んで競争させる方式。
② 入札参加者を絞らないためより競争性が向上し、談合等の不正行為防止に役立つものと考ええる。
③ 工事種別ごとに積算させた「工事費内訳書」の提出を求めているので必要ない。
④ 「競争参加資格確認申請書」の資料中で確認している。また、契約締結後も再度確認している。

本年の防災訓練

自主防災会が重要



Q 東日本大震災を顧みて、自分の身は自分で守ることを普段からの心構えに。
① 災害時の伝達に防災無線とエリアメールの併用。
② 庁舎が使用できない時の災害対策本部は。
③ 災害時、自家発電機の使用は大丈夫か。
④ 避難場所に標高の表示を。

⑤ 災害時、当局に代わり自主防災会の対応は。
⑥ 災害に対応する心構え。



A ① 9月1日よりNTTドコモのエリアメールを導入した。
② オアシスセンターを本部として、防災無線の可搬型を常置しており、町民への防災放送ができる。
③ 発電機は、3台確保しており、燃料確保については町内業者と今後協議する。
④ 避難所の標高も明記した標高マップの全戸配布を予定している。
⑤ 役場、消防等では、全地区に行き届かない。
行政に代わって、自主防災会の活動が重要となる。
⑥ 自助・共助・公助それぞれが、災害対応力を高めると同時に、食料や飲料水の確保備蓄等が大切である。



役場職員の訓練風景



阿久比自主防災会の訓練風景



都築 重信 議員

安心して暮らせる防犯を 防犯灯を設置する

Q

①阿久比インター東にて、不審者が度々出ている。判っている範囲で情報を伺う。また、防犯灯を増やすなどの対応策は。

②野外、農地、農道等において資材や農機具が盗難にあっている。防止対策は。

③都市計画道路草木岩滑線は、産業用道路・通勤用道路・農業用道路また、通学用道路でもあり、多目的に利用されている。

この重要な道路の一部で、防犯灯が消えている箇所がある。なぜか。

A

①防犯灯設置による安全対策を実施する。

②盗難事件等を確認した時は、回覧文書やホームページに掲載する。

また、農機具等は倉庫に入れて施錠することをお願いする。

③防犯灯の明かりで農作物に被害を及ぼすので一時的に消灯している。



農道のグレーチング蓋の盗難



防犯灯にあかりを(都市計画道路 草木岩滑線)



被災した中学校(岩手県陸前高田市)

災害に強いまちづくりを

標高に注意し、地質調査を行う

Q

今後庁舎等の公共施設の建設、造成について海抜、地質等を考慮し大災害(津波等)に対する安全な設計を心がけるべき。

東日本大震災の教訓を活かしたまちづくりを今後の政策に取り入れては。

A

建設候補地については、標高・地質調査等を行い土地造成と共に耐震性能を備えた施設とする。

水道料金横領事件

職員一同町民のために働く



澤田 道孝 議員

Q

① 今までの本町における町長、幹部職員の業務及び職務の執行状況によると、今回の事件は発生して当然と察する。町長の考えを伺う。

② 町長及び関係職員についての懲戒処分について伺う。

A

① 今回の事件は、住民の信頼を喪失させる大変重大な事件でした。

職員は、公務員たる意識の改革を変えるしかない。

職務に対しては、地道に真剣に事にあたり、誠実に取り組んでいくことである。

職員一同、町民のために働かせていただく。

② 現在、告訴の準備をしているところです。告訴した後、懲罰分限審査委員会を開催し、関係職員を処分する。

特別職は、議会に提出させていただく。

土地改良事業

現在までは順調に推移

Q

本町の発展のカギを握る土地改良事業の進捗状況について伺う。

① 宮津土地改良事業は。

② 阿久比・矢高土地改良事業は。

③ 企業誘致に対する現状は。

A

① 本年6月11日には、県営ほ場整備事業として行うことについて地主説明会を開催した。今後は、アンケート調査結果の集計を行い推進方法を検討する。

② 現在、土地改良事業に係る計画調査業務を委託して、地元調整内容について役員会で検討している。準備委員会発足から現在までは、順調に推移している。

③ 土地改良事業の地主負担分を賄う工業用地開発については、関係機関と協力して企業誘致を行っていききたい。



多目的広場より土地改良予定地を観る



渡辺 功 議員

議員定数は12人が妥当

議会の動向をみる

Q 議員定数問題に関する昨年末からの動きを検証しながら、定数のあり方を考える。
今日までの経過

竹内町長は、昨年11月の町長選挙において、公約の一つに議員定数の削減を掲げた。

その後、1月の臨時議会に「阿久比町議会議員の定数を定める条例の一部改正」議案を提出。16人を14人とするものであった。

しかしこの議案に対し、一部議員から動議が提出された。その内容は本議案を継続審査とし、かつ平成23年4月24日以降の改選議員によって、結論を得るものとするとした。採決の結果、動議が可決され町長提出議案は廃案となり、現在に至っている。

議員の責務

議員定数問題は、民意も尊重しながら議員の責務として自ら結論を出していくことが重要。

①本来、議員定数は議員が議論し決めるべきものと考えるが、敢えて町長が自らの選挙で公約に入れたのはなぜか。

②議員、議会の役割をどう認識しているのか。

③1月の臨時議会で定数16人を、14人に改めるとの議案を提出したが、14人とした根拠は何か。

④適正な議員定数は何を基準に決めるべきかの判断材料として、その市町の(1)人口(2)面積(3)財政状況(4)議員の報酬(5)現状の行政サービスの量や質(6)議員の活動域・能力さらに民意や他自治体の状況がある。作成した表(下図)を基に考察すると、本町の議員数は12人が妥当と考える。町長の見解を伺う。

A

①町民からの多くの声と、近隣市町でも議員数を削減している。

②議会と町長は独立した機関として対等の立場にあり、相互に抑制と均衡を図りながら、町民の福祉向上のために努めていくもの。

③14人体制の議会でも運営上問題なかった。

④12人でも運営できるかもしれないが、少し急激な削減ではないか。

⑤民意を反映する観点から一定数の議員は必要。

⑥私の案は廃案になった。議会の動向をみている。

■ 議員の数

市・町	議員定数 (人)	人口 (人)	議員1人当たり 住民人口 (人)	面積 (ha)	議員1人当たり 面積 (ha)	議員報酬月額 (除く期末手当) (千円)	住民1人当年間 議員報酬負担額 (円)	会計規模 (億円)
阿久比町	16	26,181	1,636	2,394	150	237	1,738	76
東浦町	18	50,093	2,782	3,108	173	252	1,087	140
南知多町	12	20,347	1,695	3,824	319	244	1,727	72
美浜町	14	23,566	1,683	4,638	331	245	1,747	70
武豊町	18	42,579	2,365	2,581	143	275	1,395	127
半田市	22	120,050	5,356	4,722	215	450	989	340
常滑市	18	55,917	3,106	5,400	300	397	1,533	208
東海市	24	109,800	4,575	4,336	181	463	1,214	409
大府市	21	86,275	4,108	3,368	160	438	1,279	262
知多市	21	86,433	4,115	4,543	216	453	1,320	259
合計	184	621,241		38,914		3,454		

☆阿久比町は、財政や町の全体規模から見て「12名が妥当」

阿久比町	12		2,182		199		1,304	
------	----	--	-------	--	-----	--	-------	--

グループ紹介

ボランティアグループ グリーン



生け花の先生と

こんにちは、ボランティアグループ「グリーン」です。

ボランティア立ち上げのきっかけは、「地域に何か役に立つことがしたい」と思う人たちが集まり、平成12年に「グリーン」が誕生しました。

私たちは、週1回、一期一会荘でお手伝いをしています。主な内容は、一期一会で月2回行われる「生け花の日」のお手伝い、車イスの方のお買い物や散歩のお手伝い等です。

その他にも、一期一会荘で開催される4月の「花まつり」や8月の「納涼夏まつり」、10月の「運動会」等の行事のお手伝いをさせていただいています。

こうした活動の中で、利用者さんとの語らいは、とても楽しいひとときとなっています。

私の好きな言葉に、「背伸びすることなくつくろうことなく」

しかし決して 怯むことなく
その場 その場で

自分の持てる力を
誠実に 真剣に出していく
その人こそ 平凡に見えて
豊かな知恵の人であろう」
があります。

私たち「グリーン」は、平凡な主婦の集まりですが、日々感謝の思いを込めて、利用者さんとの楽しいひとときを過ごさせていただいています。

(代表 新美操子)

次回定例会

12月8日(木)

(開催予定)

午前10:00～

問い合わせ先

☎ 48-1111

FAX48-1711

議会事務局へ

皆さんの
傍聴をお待ち
しています

編集後記

「人」という文字が表すように、「支え合う」ことの大切さは、言うまでもありません。

今回紹介させていただいたボランティアグループ「グリーン」の皆様やさまざまなボランティアに参加されているすべての皆様に、心からの敬意と感謝を申し上げます。

議会だより編集特別委員会

委員長	二井 登喜男
副委員長	沢田 栄治
委員	久保 秋男
委員	竹内 一美
委員	都築 重信